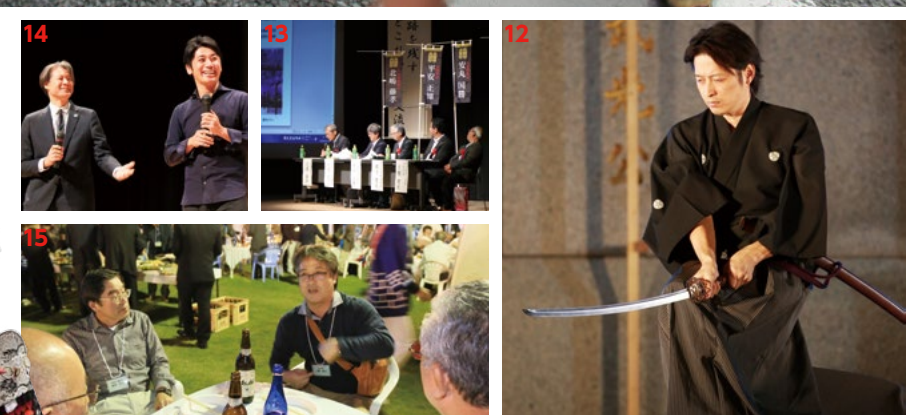




1. 4. 5. 11. 通し物（市内パレード）には地元団体が多数出演。まつりを盛り上げた2. 岩手県遠野市の「しし踊り」。迫力ある踊りで観客を魅了。3. 鹿児島県龍郷町の「六調」。陽気な音楽が会場に響いた。6. ミスユニバース熊本大会出場メンバー。7. 国重要無形民俗文化財「御松囃子御能」の奉納。8. 能場コンサート。外国人アーティストが世界のさまざまな音楽を披露。9. チーム対抗のど自慢大会。自慢の歌と踊りを披露。10. 15. 参加者交流会には全国各地から大勢の人が参加。親睦を深めた。12. 居合道演武。13. 菊池一族歴史交流シンポジウムのパネルディスカッション。14. 短編映画「春なれや」の外山文治監督と音楽を担当した亀井登志夫さんの舞台挨拶。



は、居合道演舞や友好都市による郷土芸能などが披露されたほか、菊池の郷土料理や地酒などがテーブルいっぱいになり並びました。参加者は菊池一族に思いをはせながら、菊池のおいしい料理とお酒を満喫。親睦を深めていました。

16日は菊池市文化会館で、第2回菊池一族歴史交流シンポジウムを開催。くまもと文学歴史館館長・九州大学名誉教授、服部英雄さんによる基調講演のほか、福岡県八女市や小郡市、太刀洗町、佐賀県伊万里市の代表者、江頭実市長をパネリストに迎えたパネルディスカッションが行われました。午後からは、本市でほとんどのロケが行われた短編映画「春なれや」の無料上映会も開かれました。



ことは秋まつりの開催に合わせ、全国の菊池（地）姓の皆さんや菊池に縁ある人、関心ある皆さんを菊池にお招きし、おもてなしする「きくちさんいらっしやい事業」を展開。秋まつりの見学会や菊池一族ゆかりの地をめぐるツアー、交流会、菊池一族歴史交流シンポジウムを開催しました。

15日、菊池市民広場で行われた交流会には全国各地から約200人が参加。会場では

きくちさんいらっしやい！ 秋まつり

例年を上回る約1200人が参加

10月13日～16日の4日間、菊池市民広場をメイン会場に「きくち秋まつり」が開催され、大勢の来場者でにぎわいました。

15日の通し物には、菊池夏まつりでおなじみの巨大白龍やミスユニバース熊本大会出場メンバーのほか、友好都市の岩手県遠野市から「佐比内しし踊り保存会」、鹿児島県龍郷町から「六調」が出演。菊池市消防団のみこしや市内の各幼稚園・保育園など地元団体も初登場しました。

出演団体数は昨年の18団体から25団体に増え、例年を上回る約1200人が参加しました。秋晴れの天気の中、みこしや踊り、獅子舞、千本槍、武者行列などさまざまなパフォーマンスが披露され、沿道からは大きな声援が送られました。

全国のきくちさんをおもてなし